



医療栄養学科と理学療法学科のコラボ企画

サルコペニア予防と健康長寿

- リハビリテーション栄養の重要性 -

筋肉量や筋力が低下することをサルコペニアと言います。もともとは加齢による筋肉量の低下をサルコペニアと言いましたが、栄養不良や廃用（活動量の低下）によるサルコペニアも知られています。サルコペニアになると、感染症が重症化したり、手術の合併症が多くなったり、転倒などのリスクが高くなることも分かっています。健康長寿のためにはサルコペニアを予防することが大切です。これには、たんぱく質などの栄養摂取とリハビリテーションが大事です。今回、効果的な栄養補給やリハビリテーションのコツを解説していただきます。また、学生補助のもと、体験イベントも行いますので、ぜひお越しください。

講演会

日時 10月26日（土）
13時30分～15時00分
（受付開始 13：00～）

会場 1061教室
（10号館6階）

プレゼンター

- 13：30～14：00
甲南女子大学 看護リハビリテーション学部
理学療法学科 助教
石原 広大氏（理学療法士）
- 14：00～15：00
東京女子医科大学病院リハビリテーション科
教授・診療部長
若林 秀隆氏（医師）

体験イベント

日時 10月26日（土）
15時00分～16時00分

会場 1040教室・コモンルーム
（どちらも10号館4階）

内容

- 体組成測定
- 握力測定
- サルコペニア評価

講演会も体験イベントも
事前予約不要です
お申し込みも
ぜひお越しください！
お問合わせも

主催・お問い合わせ

甲南女子大学 医療栄養学部事務課（お電話は平日9：00～17：00の間に承ります）

☎ 078-413-3017

✉ nutr@konan-wu.ac.jp

